



アドビシステムズ社、 リッチ インターネット アプリケーションを Macintosh および Linux に拡大

**Adobe Flex Builder 2 Macintosh 版および
Flash Player 9 Linux 版のプレリリース版を 提供開始
開発者向け Web サイト Flex Component Exchange を新設**

【2006年11月6日】

米国ネバダ州ラスベガス発 (2006年10月25日) Adobe Systems Incorporated (NASDAQ: ADBE) (本社:米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社) は、ラスベガスで開催されたユーザカンファレンス MAX 2006 において、強力な次世代のリッチ インターネット アプリケーション (RIA) 開発環境である Adobe Flex Builder 2 Macintosh® 版 (スタンドアロン版 / Eclipse™ プラグイン版) プレリリース版の提供が Adobe Labs (<http://labs.adobe.com/technologies/flexbuilder2/>) を通じて開始されると発表しました。

デスクトップソフトウェアの使いやすさと柔軟性と Web の広範な配信性を併せ持つ、次世代の Web アプリケーションの構築を可能にする Flex Builder 2 が、Macintosh プラットフォームにも拡大されることにより、Macintosh 向けソフトウェア開発者が、表現力豊かで魅力的なユーザ体験を作り出すことが可能となりました。Flex Builder 2 プレリリース版 (Macintosh 版) はスタンドアロン版と Eclipse プラグイン版が用意されており、ともにインテル® 製マイクロプロセッサ搭載モデルと PowerPC® 搭載モデルの両方をサポートしています。

またアドビシステムズ社は、Flash® Player 9 (Linux® 版) パブリックベータを既に発表しており、表現力豊かな Flex アプリケーションの動作環境を Linux プラットフォームにも拡大しました。Flex 2 SDK と Flash Player 9 (Linux 版) を組み合わせれば、ソフトウェアサポートが提供される RIA 開発プラットフォームを無償で利用することができます。無償の Flex 2 SDK のアップデートには、Flash Player 9 (Linux 版) のデバッグが同梱されており、開発者は、Flex ベースのアプリケーションの開発から、デバッグ、展開までを Linux 環境のみで実現することができます。Flex 2 SDK のアップデートは 2007 年 1 月上旬に提供開始の予定です。

Adobe Flex 2 は発表以来、Web アプリケーション開発者から絶大な支持を得ており、ダウンロード件数はすでに 10 万件を超えています。先日は、「Java Developers Journal」誌の Editor's Choice 賞を受賞しました。

Atellis 社のチーフ ソフトウェア アーキテクトで「Programming Flex 2」(オライリー社) の著者であるチャフィック カズーン (Chafic Kazoun) 氏は、「アドビシステムズ社が、開発コミュニティの要望に誠実に耳を傾けて開発した Flex 2 は、大多数のユーザが利用できるアプリケーションを短期間で開発することを可能とする統合プログラミングフレームワークです。開発される Flex アプリケーションは従来からクロスプラットフォームに対応していましたが、今回さらに、最新の統合開発環境 (IDE) である Flex Builder 2 の

Macintosh 版が提供開始されることにより、クラスプラットフォーム環境での開発が可能となり、開発者は好みのプラットフォームで Flex アプリケーションを開発することができるようになりました」と述べています。

今回新たに、Flex 開発者を支援する Web サイト Flex Component Exchange (<http://www.adobe.com/exchange>) が開設されました。Adobe Flex 2 は、アプリケーション開発の迅速化を可能にする、UI のレイアウトやデータ、セキュリティなどのさまざまなコンポーネントを標準装備した開発ツールセットですが、今後はさらに、開発者自身が作成したカスタム コンポーネントをこの Web サイトで公開することが可能となります。アドビシステムズ社のコンポーネント開発も継続され、業界を代表する商用のコンポーネントの開発者と協力し、Flex のエコシステムのさらなる拡張を進めていきます。

アドビシステムズ社 エンタープライズ&デベロッパービジネスユニットのプロダクトマーケティング担当シニアディレクター ジェフワットコット (Jeff Whatcott) は、「Flex 開発者を 100 万人にするという目標に近づきつつあります。アドビシステムズ社は、次世代の Web アプリケーション開発に意欲的な世界中の開発者を積極的に支援しています。これは今回、Flex 2 の開発環境を Macintosh プラットフォームと Linux プラットフォームに拡大したことに明確に表れています」と述べています。

Flex 2 は、革新的で表現力豊かな Web アプリケーションを短期間で開発するために必要なツールおよび技術がすべて揃ったエンドツーエンドのソリューションです。無償提供されている Flex 2 SDK と、メッセージベースの強力なデータ管理サービス Flex Data Services 2 Express 版 (1CPU 上で稼動する環境で使用できる機能制限版) を利用すれば、ソフトウェアライセンス料金を支払わずに RIA を構築し、展開することができます。Flex Builder 2 は Eclipse ベースの強力な IDE であり、アプリケーション開発や UI 設計のためのコントロールやサービスを豊富に取り揃えたライブラリも用意されています。さらに Flex Data Services 2 により、リアルタイムのデータ同期やコラボレーション機能を実装したパフォーマンスの高いデータインテンシブなアプリケーションを構築することができます。

必要最小システム構成

Flex Builder 2 (Macintosh 版)

- PowerPC G4 またはインテル製マイクロプロセッサ (1GHz 以上)
- Mac OS® X 10.4.3
- 1GB 以上の RAM (推奨)
- 300MB 以上の空き容量のあるハードディスク
- Java Virtual Machine: Sun JRE 1.5
- Eclipse 3.2 (Eclipse プラグイン版のみ)

Flash Player 9 (Linux 版) パブリックベータ

- 800 MHz 以上のプロセッサ
- Red Hat Enterprise Linux 3 Update 8、Red Hat Enterprise Linux 4 Update 4 (AS/ES/WS)、SUSE Linux 9.x または 10.1、Firefox 1.5.0.7、Mozilla Seamonkey 1.0.5
- 512MB 以上の RAM
- ALSA サウンドドライバ (OSS および ESD では音声は再生されません)
- グラフィックメモリー (128MB)

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.com/jp> に掲載されています。